

教育ニュース「協働 共豊」 No.15

今週の児童川柳

「急に夏 急に冬来て「お～さぶう」(5年生)

平成22年10月25日

広島市立吉島小学校

後期がスタートして、はや半月を経過しました。本校では、読書や思考の習慣化、協同学習の充実とともに、新聞を教材とした学習や繰り返し学習の充実などに取り組んでいます。例えば、環境の保護を取り扱った複数の新聞を読み比べ、自分なりのエコ新聞を作成したり、考えをエコ川柳にまとめたりする学習。その後、エコ活動についての関心を維持し生活実践へつなげる繰り返し学習が。これらの成果は、校長室前の川柳箱にも。

投稿されたエコ川柳例

「食べ物を残さず食べるよ がんばるよ」「エコ日記 いつもかかさず 続けたよ」「鉛筆を つなげて使おう エコだから」など

また、本校では、ことばの力を育成するために、学年に即して話形を具体的に児童に示し話す技能を育むとともに、作文、俳句や短詩づくりなど書く機会を増やし慣れ親しませることより、書く力を育むことに一層力を注いでいます。

さらにこのたび、校長室前の川柳箱に加え、「四字熟語箱」を設置することにしました。これは、漢字・熟語の由来や意味について関心を高め、語感を味わうとともに、自作熟語により生活を豊かなものにしてほしいという願いから生まれようとしている投稿箱です。

「温故知新」「共存共栄」「七転八起」「万能一心」「有言実行」など伝え語られている四字熟語を参考に、子どもらしい感覚で四字熟語をつくってくればと…。



とことん仲のよい6年生が、修学旅行で3つの“とことん”を実践!

この20日から1泊2日の修学旅行。秋芳洞や海響館、考古博物館、いのちのたび博物館、スパ・ワールドにて、自然と歴史についての知見を広げ、命の尊さを学び、そして友だちとの絆を深めた6年生。

引率した私のしおりに、さまざまな感動や児童の成長などをメモしたしりが残っています。体調がすぐれない児童に、「大丈夫?」「もう少しじゃけ」と声をかける児童や、何も語らず席をかわる児童、車中でレク係として楽しい雰囲気づくりに努める児童、夕食後・朝食後に、ホテルの方に「ごちそうさまでした」「とってもおいしかったです」と笑顔でお礼の言葉を伝える全児童、使用後ホテルの部屋やお風呂場を黙々と整頓しきれいにする児童、出発式・入館式などをじょうずに進行、児童代表として気持ちを込めて挨拶する児童、友だちの体調のようすや思いを感じ合い心づかいをしながら仲良く見学、遊具に興じる児童たち。なかには、体調を崩さないようにと就寝指導する引率の先生方に「ぼくたちのために有り難うございます。おやすみさい」と一礼して部屋に戻る児童もいました。疲れがふとび、大きな感動をもプレゼントしてくれたひと言でした。一方で、思慮不足から度を超える行動も少しあったことが心残りでした。



解散式では、「とことん優しかった」「とことん礼儀正しかった」「とことん明るかった」と成長した姿を讃えるとともに、これからの学校生活で一層豊かに成長するための宿題を6年生に伝え、修学旅行は終了しました。

ここにも、凄い吉島っ子が

今年度、50種走、持久走、立ち幅跳び、ソフトボール投げなど8種目に挑戦した新体力テスト。全種目で学年別の全国平均値を上回った児童が本校にいました。体力優秀賞：3年の女兒1名、4年の男児3名と女兒1名。